

1 単元名 「マナーの良い生活習慣を身につけよう」

2 単元の目標

- 自分の生活を振り返り、友だちと上手につきあうために身だしなみに関心を持つ。【自立3-(4)】
- 実践的な活動を通し、清潔にすると気持ちよいという経験をする。【自立1-(4)】
- 手洗いや歯磨き、洗髪などを通して、清潔に暮らす習慣を身に付けることができる。【自立1-(1)】

3 単元について (単元設定の理由)

本学級は、1年2名、2年2名の4名である。今年度は1年生の2名を迎え、新しい顔ぶれでスタートしたところである。

S-M社会生活能力検査の結果をみると、4名とも身辺自立の領域の中で特に「衛生」に関する項目が低いことが分かった。制服は着用できたが、ベルトを忘れたり、Yシャツのボタンをかけ忘れていたり身支度が整わないことがある。また、洗髪の頻度が低く周校の友だちに避けられる生徒や、風呂が嫌いで汗くさい生徒もいる。知的な遅れや不登校の状態が続いたことにより運動が極端に少なくなり、肥満を招き体力が低下した生徒もいる。

本単元では、清潔に暮らすことの大切さを理解させ、実践できる力を付けさせたい。生徒の実態によると清潔に暮らすための課題は複数あると考える。そのために単元を組み、自分で解決できることから始め、習慣化できるように継続指導を計画した。

指導にあたっては、思春期を迎え友だちや異性に関心を持ち始めた気持ちを大切に、人と接するときのマナーに関する目標を持たせたい。また、興味を引く教材を準備し賞賛や激励を適宜行動機付けをしたい。なお、衛生的に生活することを日常化するために実践指導を継続し、自分で振り返ることができるようにマナーカードを利用したい。

4 生徒の実態と個別目標

	実 態	目 標
A (1年)	毎日入浴し、着替えることはできるが、上手く身支度ができないことがある。洗髪は時々さぼる。歯磨きが苦手で酷い虫歯の状態。爪を切ることはできる。	<ul style="list-style-type: none"> ・着替えの後に鏡を見て身支度の確認ができる。 ・手洗い、歯磨きを習慣化できる。【自立3-(4)】
B (1年)	顔に水がかかると嫌、洗髪が苦手。入浴せず着替えないこともある。毎日汚れた頭でも平気。歯磨きは習慣化されず歯の色が悪い。爪はかみ切ることがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・洗顔の練習からスタートし、身体の清潔を保つことを意識できる。 ・歯磨きを習慣化できる。【自立1-(1)】
C (2年)	入浴・洗髪ともできているが、歯磨きは苦手。ズボンからシャツが出ていても気づかず、身なりが整わないことがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・歯磨きを習慣化できる。 ・着替えの後に鏡を見て身支度の確認ができる。【自立1-(4)】
D (2年)	肥満で動くことを嫌う。入浴・洗髪・着替えとも苦手。歯磨きもせず酷い虫歯。手足の爪も学校で切る状態。汗臭くても気づかない。	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔な習慣の心地よさがわかる。 ・手洗い、歯磨きを習慣化できる。【自立1-(1)】

5 指導計画と評価 (5時間扱い)

第1次 歯磨きをしよう・・・2時間

第2次 手をきれいにしよう・・・2時間 (本時1/2)

時	主な学習内容・活動	評 価			
		A	B	C	D
1 (本時)	1 手洗いをしているか確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・手の汚れの落ち具合を確認し、正しく洗いができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手を洗うことの大切さが分かり、手を洗わずにできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手を洗うことがわかり、手洗いが続けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いを通して、清潔にするには洗うことが必要だと分かる。
	2 でんぷん実験により汚れの落ち方について話し合う。3 どのが大切か話し合う。				
2	1 毎日の手の洗い方を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーカードを元に見ながら継続できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーカードを継続することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーカードを継続することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーカードを元に見ながら継続できる。
	2 望ましい洗い方を復習する。				

第3次 顔を洗おう・・・1時間

6 本時の指導

(1) 目標

ア 全体目標

○ マナー良く暮らすために、手を清潔にすることができる。【自立1 - (1)】

イ 個別目標

A：手を洗うときに石けんを使って正しく洗うことができる。

B：手洗いの大切さが分かり、自分から進んで洗うことができる。

C：手洗いの大切さが分かり、汚れが落ちるまで継続して洗うことができる。

D：手洗いを通して、爪を切ることや入浴の必要性に気づく。

(2) 準備・資料

生徒の手の写真，予定表，石けん，タオル，洗面器，でんぷん液（片栗粉，水），扇風機
染め出し液（ヨードチンキ，水），手順表，プリント，色鉛筆，マナーカード，手洗い表

(3) 展開

学習内容・活動	教師の指導・支援と評価 (◎評価)				
	全体	A	B	C	D
1 自分たちの写真を見て清潔かどうか話し合う。	○手をつないで活動したことや手を押さえる。	・手の汚れは見かけから気づく。	・手の汚れは肌色と違う。	・自分の手がどのくらいきれいかわかる。	・自分の手は爪の間まできれいになる。
2 本時の課題を知る。	○自分の手の写真を確認させる。	・今日の課題がわかり、予定をつかむことができる。		・うまかつ分らざる。	
きれいな手洗いができているか確かめよう。	○本時の目標を確認する。				
3 でんぷん液と染め出し液を使って実際に手洗いの様子を確認する。	○自分の手は汚れているか予想させる。	・日常を振り返ることができる。	・手洗いをしているかどうかで予想できる。	・どのくらいきれいになるか予想できる。	・予想を聞いてみる。
(1) 実験の手順を確認する。	○実験の手順を確認する。	・発表が賞賛される。	・手順表が通り順に見える。	・教師の受け答えが丁寧である。	・嫌がらぬ態度で参加する。
・でんぷん液に手を浸す。	○いつも通りに洗う。	・最後までする。	・水洗いだけにしてしまおう。	・教師の受け答えが丁寧である。	・嫌がらぬ態度で参加する。
・いつものように手洗いをする。	○「残り汚れ」を確かめる。	・特別に洗いなおす。	・水洗いだけにしてしまおう。	・教師の受け答えが丁寧である。	・嫌がらぬ態度で参加する。
・染め出し液に手を浸す。	○でんぷんが残ったところを確認する。	・素言を聞く。	・ヨウ素は手についたら洗う。	・教師の受け答えが丁寧である。	・嫌がらぬ態度で参加する。
(2) 汚れが落ちるかどうかを確認する。	○汚れが残っているか確認する。	・素言を聞く。	・ヨウ素は手についたら洗う。	・教師の受け答えが丁寧である。	・嫌がらぬ態度で参加する。
4 「正しい手洗い方」を確認する。	○どこに注意すると清潔か気づかせる。	・素言を聞く。	・ヨウ素は手についたら洗う。	・教師の受け答えが丁寧である。	・嫌がらぬ態度で参加する。
(1) プリントをもとに確認する。	○手洗いの手順を確認する。	・素言を聞く。	・ヨウ素は手についたら洗う。	・教師の受け答えが丁寧である。	・嫌がらぬ態度で参加する。
(2) 再度手洗いをする。	○手洗いの手順を確認する。	・素言を聞く。	・ヨウ素は手についたら洗う。	・教師の受け答えが丁寧である。	・嫌がらぬ態度で参加する。
5 本時のまとめをする。	○手洗いの手順を確認する。	・素言を聞く。	・ヨウ素は手についたら洗う。	・教師の受け答えが丁寧である。	・嫌がらぬ態度で参加する。
(1) カードに記入する。	○手洗いの手順を確認する。	・素言を聞く。	・ヨウ素は手についたら洗う。	・教師の受け答えが丁寧である。	・嫌がらぬ態度で参加する。
(2) 次の学習の予定とカードの使い方を知る。	○手洗いの手順を確認する。	・素言を聞く。	・ヨウ素は手についたら洗う。	・教師の受け答えが丁寧である。	・嫌がらぬ態度で参加する。